

子ども食堂ネットワークなど先駆的取り組みを実現!

大野 子ども・子育て支援には、極めて幅広い対応が必要だと考えています。結婚しやすく子育てしやすい環境を整えるための県の支援は数多くありますが、たとえば、結婚に向けたSAITAMA出会いサポートセンター(恋たま)を設け、AIによるマッチングなどで大きな実績を上げています。また、「正社員になるプロジェクト」や育児を終えて再就職を希望する方に特化した職業訓練や就業支援などの経済面の支援も重要です。出産時の支援も重要だと考えますが、妊産婦や新生児を抱えた親御さんからの相談も多いのではないですか。

小松 埼玉県は若い世代も増え、様々な支援があるので子育てしやすい県とも言われています。一方、身近に相談相手もなく「孤独な子育て」の親御さんからの相談も多く、子育てのちょっとした話を聞いてもらいたい、子育て仲間がほしい、発達について気になっているなど寄せられています。様々なニーズに応えられる支援者の担い手として、経験豊かなシニア層が活躍するためにもしっかりと人材育成にも期待しています。

大野 出産時には国と連携して出産・子育て応援資金の提供や市町村が支援を実施する場合に県として上乗せをして最大1万円相当のギフト・ボックスをお渡ししています。このギフト・ボックスは中身を子育てする方が選択できるものですが、重要なことは手渡しをすることにより、その後の伴走型相談支援を始めとし、希望される方への様々な支援につながるきっかけを作ることにあります。これ以外にも、パパ・ママ応援ショップでの割引や赤ちゃんの駅のさらなる整備も進めています。

小松 ギフト・ボックスを手渡すだけでなく、その後の伴走型相談支援を始め、今まで以上に「包括的な支援」が身近にたくさんできるといいですね。パパ・ママ応援ショップや赤ちゃんの駅も今まで以上に増えてほしいです。県と県内経済界で「子育て支援企業協定」を結んだのも埼玉発と伺っています。さらに気運を盛り上げるためにも多様な側面から企業が子育てを応援する「子育て応援企業宣言」制度を創るのはどうでしょうか?

大野 「応援企業宣言」はいいですね。社会で育てることが不可欠な現代において、企業が積極的に宣言をしていただくと、そこで働く子育て世代を後押しし、逆に、宣言した企業は、従業員を大切にできる企業とみられますよね。子どもたちのセーフティネット作りも重要です。残念ながら家庭での虐待は後を絶ちませんが、近年、警察との連携も強化され、虐待を疑うケースの通報も増加しました。この結果、隠れていた虐待疑い事例が増加し、例えば県内の一時保護所は1年を通じてほぼ満所でした。そこで、熊谷児童相談所に一時保護所を開設し、朝霞にも新設を予定しています。更には、小学校学区に一つずつ子ども食堂の整備を進めており、現在では目標の6割程度になっています。また、子ども食堂やフード・パントリーの開設や運営を支援する子ども食堂ネットワークや埼玉フード・パントリー・ネットワークは、日本でも最大規模あるいはユニークな取り組みとして知られています。これらの居場所づくりは子どもたちへの食べ物の提供にとどまらず、たとえばひとり親家庭の相談を受けたり、子どもたちの勉強場所確保につながっています。他にも自殺対策のための専用窓口の開設や児童養護施設卒業生の支援など、多様なセーフティネットの仕組みを設けました。

小松 養護施設の理事や第三者委員も仰せつかっておりますが、コロナ渦の影響もあり子どもへの虐待件数は増加しています。子どもがほっとできる一時保護所の開設が増えるのはほんとうにありがたいことです。子ども食堂やフード・パントリー・ネットワークなど、埼玉県の取組は先駆的で力強い取組になっています。地域の中小企業や地域住民の方からも、未来ある子どもたちのために「自分たちに何かできることはないか、協力させてほしい」という声が聞こえてきます。中高生支援も含め、地域ぐるみで子どもたちの応援気運が盛り上がっていますね。自治体の「子ども・子育て会議」の委員もさせて頂いております。幼稚園においては質の高い保育をされていても、出生率の低下により定員割れしてしまう園が散見されます。これからも基礎自治体との連携を深め、きめ細かい対応がさらに求められます。地域によっては、待機児童数と施設定員のミスマッチもあるようです。さらには、基礎自治体と連携し、妊娠・出産前から18歳までの児童支援を対象とした「児童館」等の充実、「学童保育」施策等の充実も期待しています。



小松 君恵 (こまつ きみえ) ●株式会社コマーム取締役会長

1976年淑徳短期大学卒業後、川口市児童福祉課入職/1987年(株)学習研究社 埼玉支社入社/1995年(有)コマツ子育てフォーラム事業開始/2020年(株)コマーム取締役会長/虐待防止オレンジリボン活動、子ども食堂活動の他、川口市勤労福祉サービスセンター理事、(福)児童養護施設 子供の町評議員・第三者委員などを務める



子ども食堂ネットワークなど先駆的取り組みを実現!

大野 保育園等は公定価格で運営されていますが、例えば隣接する川口市と足立区では、川口市の方が平均給与が高いのに、足立区の方が2段階保育士給与が高く設定されているなど、この地域区分は明らかに不公平です。国に申し入れを行っていますが、改善されていません。この給与への補助は行えないために人件費への充当として保育園等に支援を行っている自治体もありますが、この支援を給与に上乗せするかは、あくまでも運営者の判断になります。そこで埼玉県では、直接保育士に支援が届くように、保育士の住宅支援や奨学金返済支援等を行っています。また、昨年のエネルギー価格等の高騰にもかかわらず、年度途中の公定価格の見直しは行われませんでした。埼玉県の場合、エネルギー価格等の高騰を受けて工事等の公共発注は毎年見直しすることとしたのに、なぜ国が公定価格の柔軟な見直しをできないのかは理解不能ですが、そんな悠長なことは言うておられず、保育園等へのエネルギー価格等変動に対する激変緩和のための支援も行わせていただきました。

小松 保育人材不足は深刻です。保育士たちが安心して心豊かに「未来ある子どもたち」のためにもよりよい仕事にしていくためにも、国への公定価格の見直し申し入れをこれからもよろしく願います。東京都に隣接している所沢市・入間市などでも同じように不公平さを抱えています。直接保育士に支援が届くのは大変有効な施策だと思います。埼玉モデルと言われている「適切な価格転嫁」連携協定で気運を盛り上げ、さらには「価格交渉支援ツール」開発のおかげで中小企業はとても力強い支援になっています。保育園はじめ公的な施設への活用はしにくいと感じていたので、県独自での直接支援は本当にありがたい支援です。



小松 君恵 (こまつ きみえ) ●株式会社コマーム取締役会長

1976年淑徳短期大学卒業後、川口市児童福祉課入職/1987年(株)学習研究社 埼玉支社入社/1995年(有)コマツ子育てフォーラム事業開始/2020年(株)コマーム取締役会長/虐待防止オレンジリボン活動、子ども食堂活動の他、川口市勤労福祉サービスセンター理事、(福)児童養護施設 子供の町評議員・第三者委員などを務める